

「水辺の環境活動プラットフォーム」に会員登録いただきありがとうございます。

環境省では、水辺・海辺について、これまでの「保全」に加え、「活用」の観点も重視した新たな政策を進めています。

本プラットフォームでは、良好な水環境等の保全・活用に関する行政・企業・団体の様々な情報を月1回程度メールマガジンでお届けします。

また、環境省環境創造室の「公式SNS（Facebook、X、Instagram）」を開設しました！

公式 SNSでは、良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務等をより身近に、タイムリーにお届けしていきますので、ぜひフォローをお願いします！

---* ◆水辺の環境活動PFメールマガジン* ◆◇第7号* ◇* -----

- 【1】会員のイベント・交流掲示板・会員取組情報をご紹介します！《会員情報》
- 【2】良好な環境創出シンポジウム2025～多様な主体の共創による地域の魅力度向上を目指して～を開催します！《事務局》
- 【3】第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会in美瑛町が開催されました！《事務局》
- 【4】ツーリズムEXPOジャパン2025で観光モデル事業の取組を紹介しました！《事務局》
- 【5】公益社団法人瀬戸内海環境保全協会主催の「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム in 広島」で良好な環境の創出について講義しました！《事務局》
- 【6】「企業の脱炭素実現に向けた統合的な情報開示（炭素中立・循環経済・自然再興）に関する勉強会」を全5回で開催します！《環境省》
- 【7】「ネイチャーポジティブ経営推進プラットフォーム」オンライン交流会について《環境省》
- 【8】《11/18(火)開催》地域循環共生圏フォーラム2025「地域に着目する企業・金融の実践と共創～環境×社会×経済の好循環を目指して～」（11/17まで受付中！）《環境省》
- 【9】地域循環共生圏セミナー2025「見つけて、広げて、活かす！『観光・福祉・交通・教育』×『環境』の地域づくり」開催！《環境省》
- 【10】「プラスマ・アワード2026」の募集をしています！《環境省》
- 【11】名水百選選定自治体による「名水サミットinはだの」が開催されます！（当日参加も可能です！）《全国水環境保全市町村連絡協議会》
- 【12】145社を「水循環企業」に登録・認証しました！《内閣官房水循環政策本部事務局》
- 【13】多様な主体による森林づくり活動と水源涵養機能に関するセミナー～新たな定量化に向けて～を開催します！《林野庁》
- 【14】第15回雨水ネットワーク全国大会を開催しました！《国土交通省・環境省ほか後援》
- 【15】ダム湖が生き物の新しいすみかに～河川水辺の国勢調査34年間の成果を分析～《国土交通省》

【1】会員のイベント・交流掲示板・会員取組情報をご紹介します！

《会員のイベント [NEW]》

- ・ 11月8日（土）名水サミットinはだの～名水というのには訳がある～《神奈川県秦野市》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.15>

- ・ 11月15日（土）月例小豆島調査目的ビーチクリーン《特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサ

ンブル》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.18>

・11月17日（月）松永湾里海協議会設立記念シンポジウム ～松永湾を次世代に繋ぐため 今、私たちにできること～ 《復建調査設計株式会社》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.20>

・11月29日（土）「海の再生」につなげる流域まちづくり 《水の環つなぎ活動：chotto》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.17>

・12月13日（土）12／13幕張の浜ビーチクリーン 《NPO法人Aqua Dream Project》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/detail?record=110082.21>

[↓プラットフォーム会員のイベント一覧はこちらから]

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/event/>

《交流掲示板 [NEW] 》

・調査目的の分別回収型ビーチクリーンを導入いただける団体様募集 《特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル》

▽詳しくはこちら

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/community/detail?record=110084.5>

[↓プラットフォーム会員の交流掲示板一覧はこちらから]

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/community>

《会員取組紹介 [NEW]》

・館林市教育委員会【関東地方】

～第1回維持管理トライアル「キショウブバスターズ」

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/members/torikumi?record=110077.21>

・特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル【中国・四国地方】

～学会発表内容紹介（市民参加型ビーチクリーン）～

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/members/torikumi?record=110077.19>

・一般社団法人浦々シマジマ実践ラボ【九州・沖縄地方】

～霧島市錦江湾「海底湧水の塩づくり」「海底探索ワークショップ」～

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/members/torikumi?record=110077.20>

[↓プラットフォーム会員情報の一覧はこちらから]

<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/members/>

【2】良好な環境創出シンポジウム2025～多様な主体の共創による地域の魅力度向上を目指して～を開催します！

■ 開催日時

【日 時】 令和7年12月22日（月）13:00～

【開催形式】 ハイブリッド開催（会場/WEB）

※事前申込制（会場は当日申込可）

【会 場】 ベルサール神田 2階イベントホール

【主催】環境省

【定員】会場100名（WEB参加は制限無し）

【その他】シンポジウム最新情報を随時「水辺の環境活動プラットフォーム」の新着情報・環境創造室公式SNS※でご紹介していきます

※ 環境創造室公式アカウント

- ・ X : <https://x.com/KankyoRyoko>
- ・ Instagram : <https://www.instagram.com/kankyoryoko/>
- ・ Facebook : <https://www.facebook.com/KankyoQOL>

■ 申込方法

参加を希望される方は、以下の参加申込フォームに必要事項をご入力の上、お申込みください。報道機関の方も同様にお申込みください。

＜参加申込フォーム＞

<https://www.club-t.com/fm/pub/common/environment-symp2025>

■ 問合せ先

良好な環境創出シンポジウム2025事務局（クラブツーリズム(株) シンポジウム担当）

E-mail : ryouko-kankyo@club-t.com

▽詳しくはこちら

https://www.env.go.jp/press/press_01401.html

●シンポジウムプログラム 13:00-18:30

開会挨拶 13:00-13:10

基調講演 13:10-13:40

パネルドiskusション 13:40-14:10

テーマ「(仮)多様な主体の貢献による地域の魅力向上の可能性」

【パネリスト】

【モデレーター】

活動交流会 14:10-14:40

フリー交流会 14:40-18:30

【会場アクセス】

ベルサール神田

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

【お問い合わせ先】

良好な環境創出シンポジウム2025事務局（クラブツーリズム(株) シンポジウム担当）

E-mail : ryouko-kankyo@club-t.com

【3】第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会in美瑛町が開催されました！

10月25日（土）、美しい星空を良好な環境として次世代に残すため、大気環境保全に取り組む全国の自治体関係者を集めて第37回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が開催されました。

大会には高円宮妃殿下御臨席の下、星空観測等を通じた大気保全の啓発、普及の取り組み進めてきた団体と個人に対し、石原環境大臣から大臣表彰が授与されました。

https://www.env.go.jp/guide/photo_report/report_01025.html

また、美瑛町在住で丘のまち郷土学館「美宙（みそら）」の名誉天文台長を務める理論物理学者の佐治晴夫さんが記念講演を行い、「普段は見えないと思われているが、昼間でも星を見ることはできる。ふとした時に、見上げてほしい。」とお話いただきました。

良好な環境推進チーム／環境省環境創造室の公式SNS（Facebook/X/Instagram）では出張報告を掲載していますので、こちらをご覧ください（フォローもお願いします！）

- ・ Facebook : <https://www.facebook.com/KankyoQOL>
- ・ X : <https://x.com/KankyoRyoko>
- ・ Instagram : <https://www.instagram.com/kankyoryoko/>

【４】ツーリズムEXPOジャパン2025で観光モデル事業の取組を紹介しました！

9月25日（金）に愛知で開催されたツーリズムEXPOジャパン2025におけるセミナー「自然との共生」を体感する旅へ～国が認定する自然共生サイトをはじめとした良好な環境を舞台に～」（主催：一般社団法人日本旅行業協会 国内旅行推進部、共催：環境省）で、良好な環境を活用した観光モデル事業の取組を紹介しました！

本セミナーでは、モデル事業の実施主体である一般社団法人北房観光協会、hinel（ヒネル）、一般社団法人E'more秋名の3団体の方々に各地域での取組等についてご紹介頂いた上で、本事業の専門家でもあるクラブツーリズム株式会社の鈴木氏をモデレーターとして、観光に取り組もうと思った動機や、観光を通じて目指したい姿、仲間の集め方等について、登壇者によるパネルディスカッションを行いました。会場には旅行業者の方や観光関係者の方をはじめとてたくさんの方々にお越し頂き、立ち見も出るほどの盛況ぶりでした！

当日の様子については下記ページで動画が公開されていますので、ご関心のある方はぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=y7qlPN72x-Q>

【５】公益社団法人瀬戸内海環境保全協会主催の「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム in 広島」で良好な環境の創出について講義しました！

公益社団法人瀬戸内海環境保全協会では、瀬戸内海の環境保全に係る事務を担当する自治体や環境保全の実践活動を行っている環境衛生団体・漁業団体の職員等で新たに瀬戸内海の環境保全業務に従事する者を対象に、瀬戸内海環境保全特別措置法や環境技術等、専門的知識を習得することを目的として、毎年「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム（以下URL）」という研修会を開催しています。

<https://www.seto.or.jp/promotion/kensyu>（webサイトには令和6年度実施分まで掲載）

例年環境省からも講師として登壇しており、令和7年10月22日（水）に森川政人室長（環境創造室）が本年度開催地の広島市で講義しました。

講義では、瀬戸内海の環境保全に係る変遷や制度について基礎的な内容から説明した他、「良好な環境の創出」について、現在実施しているモデル事業等や、水辺の環境活動プラットフォームなどの取組や、取組の意義などについて、環境省の考えをお話ししました。

今後もこのような機会を通じて、地域で同じ志をもっている方々へ良好な環境の創出の取組について情報発信するとともに、各者の積極的な取組を呼びかけてまいります！

【６】「企業の脱炭素実現に向けた統合的な情報開示（炭素中立・循環経済・自然再興）に関する勉強会」を全5回で開催します！

環境省では、企業の脱炭素経営をはじめ持続可能な経営の実現に向けた統合的な情報開示（炭素中立・循環経済・自然再興）に関する勉強会を、令和7年11月より全5回で開催します！

従前より、気候変動対策の視点を織り込んだ脱炭素経営の重要性や、気候変動に対応した経営戦略の情報開示要請が高まっていますが、直近では自然資本や水資源、資源循環に関する情報開示を巡る動きも活発化しています。

本勉強会は、これらの最新動向や統合的な開示、投資家・事業者間のパネルディスカッション、企業事例の紹介等を通し、企業の情報開示の実施・高度化を支援・促進するために開催します！

この度、第1回勉強会（グッドプラクティス塾）の募集を開始しました。2回以降の勉強会も順次募集します。ぜひ、ご参加ください！

【開催概要（第2回以降は予定）】

○第1回

テーマ：流域・サプライチェーン連携による水環境の保全・活用の促進

（グッドプラクティス塾）

日時：令和7年11月26日（水）10:00-11:45（オンライン（Zoomウェビナー））

内容：流域・サプライチェーン連携によるウォータースチュワードシップ活動

申込：<https://questant.jp/q/SM1XRWJ9>（11月24日（月）17:00まで）

○第2回

テーマ：自然関連財務情報開示のワークショップ（Part1）

日時：令和7年12月17日（水）午前（順次募集）

内容：COP30成果の概要

ネイチャーポジティブ経営への移行に向けた情報開示とデータの活用

○第3回

テーマ：アースポジティブに向けた水データの活用

日時：令和8年2月頃（予定）（順次募集）

内容：水環境の保全と水リスクの影響の低減を通して機会をつかむ、データが導く意思決定とアクション（CDP共催）

○第4回

テーマ：自然関連財務情報開示のワークショップ（Part2）

日時：令和8年2月頃（予定）（順次募集）

内容：企業価値創造ストーリー集の概要、自然情報開示の動向・解説とネイチャーポジティブ対応（ベーシック編）（予定）

○第5回

テーマ：気候変動財務関連情報開示に関する最新の国内外動向

日時：令和8年2月頃（予定）（順次募集）

内容：TCFD最新動向 自然資本・資源循環との関係性（予定）

▽詳しくはこちら

https://www.env.go.jp/press/press_01541.html

▽お問合せはこちらから

「令和7年度企業の脱炭素実現に向けた統合的な情報開示に関する勉強会」事務局（株式会社野村総合研究所）：3shakai-reception@nri.co.jp

【7】「ネイチャーポジティブ経営推進プラットフォーム」オンライン交流会について

環境省では、ネイチャーポジティブ経営を推進するため、2025年3月に「ネイチャーポジティブ経営推進プラットフォーム」を開設しました。

ネイチャーポジティブ経営には、企業や地域等各ステークホルダーの互助・連携が欠かせないことから、新たな協働の創出に資するよう、オンライン交流会を開催します。

本交流会では、当プラットフォームに登録しているプロジェクトやネイチャーポジティブ技術を有する企業による取組紹介のほか、クロストークを通じて 参加者同士のネットワーキングを実施します。ぜひご参加ください！

○第2回開催概要

開催日時：2025年11月19日(水) 13:00～14:30

開催方法：オンライン（Zoom）※申込みをいただいた方へリンクをご共有いたします。

申込方法：こちらのフォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/e/u73UdnQR6y>

○第3回目以降、その他詳細については報道発表をご確認ください。

https://www.env.go.jp/press/press_01235.html

◎当プラットフォーム会員の皆様を主な対象としていますが、登録を検討されている会員以外の方も御参加いただけます。ぜひこの機会に、会員登録もご検討ください。

○ネイチャーポジティブ経営推進プラットフォーム：

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/private_participation/business/

【8】《11/18(火)開催》地域循環共生圏フォーラム2025「地域に着目する企業・金融の実践と共創～環境×社会×経済の好循環を目指して～」（11/17まで受付中！）

環境省では、地域が主体性を持って、環境だけでなく経済・社会に貢献する地域づくりを目指す「地域循環共生圏」の取組を進めています。

地域循環共生圏は、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカルSDGs事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくるとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方です。

本フォーラムでは、持続可能な地域づくりを進める省庁、企業、金融機関、市民団体が一堂に会し、実践を共有しながら学びや交流を深め、地域循環共生圏の拡大を目指します。

対面で繋がる絶好の機会、ぜひご参加ください！

■日時：令和7年11月18日(火) 13:00～17:05

■場所：イイノホール&カンファレンスセンター

(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4階)

■主催：環境省

■詳細：https://www.env.go.jp/press/press_00803.html

■申し込みはこちら <https://business.form-mailer.jp/lp/687b4b77309401>



【9】地域循環共生圏セミナー2025「見つけて、広げて、活かす！『観光・福祉・交通・教育』×『環境』の地域づくり」開催！

環境省では、地域が主体性を持って、環境だけでなく経済・社会に貢献する地域づくりを目指す「地域循環共生圏」の取組を進めています。

本セミナーでは、観光・福祉・交通・教育などのテーマから地域づくりに関わる方々に向けて、「環境の視点」を加えることで、地域課題に新たなアプローチを見出すヒントをお届けします！

■特に おすすめの方

- ・観光・福祉・交通・教育などのテーマから地域をより良くしたいと考えている方
- ・もっと地域資源を活用した地域づくりをしたい方
- ・持続可能な地域づくりにお悩みをお持ちの方

多様な切り口から地域づくりを考える内容となっているため、複数回のご参加をおすすめします。みなさまのご参加をお待ちしています！

【概要】

■日 時：令和7年12月2日（火）

令和7年12月9日（火）

令和8年1月14日（水）

令和8年1月28日（水）※各回15:00～17:00

■対 象 者：自治体、企業、NPO等などで地域づくりに取り組んでいる方

■開催方法：オンライン開催

■主 催：環境省

■参加費：無料

■定 員：200名

■申込期日：各開催日の3営業日前

■申込はこちら：<https://business.form-mailer.jp/lp/27d6d1b9314532>

■詳 細：https://www.env.go.jp/press/press_01421.html



【10】「プラスマ・アワード2026」の募集をしています！

環境省では、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、“プラスチックとの賢い付き合い方”を推進する「プラスチック・スマート」を展開し、多様な主体の取組について情報発信しています。

この度、企業や自治体等による優れた取組を令和7年12月19日（金）まで募集しています！

特に優れた活動については、「プラスマ・アワード2026」として表彰（表彰状及び取組のPRに活用いただけるロゴマークをお渡し）するとともに、環境省のウェブサイトでの特集シンポジウム等で広く紹介することで、効果的な取組を全国的に創出・推進することとしています。ぜひ、ご応募ください！

【募集期間】 令和7年10月20日（月）～12月19日（金）予定

【募集対象】 全国の企業、自治体、団体（個人は除く）

※「プラスチック・スマート」ウェブサイトの「全国の取組事例」に登録済み、もしくは登録予定であることが応募条件となります。

【募集内容】 不必要なワンウェイプラスチックの抑制、代替品の開発・利用、徹底した分別回収・リサイクル、ごみ清掃活動、普及啓発・広報活動等、海洋プラスチックごみ問題の解決に資する活動

【応募フォーム】 <https://forms.gle/UBt9JHJxrkjEoZAQ9>

▽詳細はこちら

https://plastics-smart.env.go.jp/award_26/

▽報道発表ページ

https://www.env.go.jp/press/press_20240614_1_00006.html

【11】名水百選選定自治体による「名水サミットinはだの」が開催されます！（当日参加も可能です！）

環境省から名水百選に選定された自治体が加盟する「全国水環境保全市町村連絡協議会」では、毎年、地域づくりの推進や水の重要性の周知を目的に 全国大会及びシンポジウム（名水サミット）を開催しています

今年は市制施行70周年を迎える神奈川県秦野市が開催地となり「名水というのには訳がある」をテーマに、名水を育む地形や自然環境のほか、秦野市が経験してきた地下水位の低下、地下水汚染などの課題

への対策について、それぞれの分野の専門家による基調講演を行います
当日参加も受け付けておりますので、ぜひお立ち寄りください！

【日時】令和7年11月8日（土）12時50分～17時00分

【会場】メタックス体育館はだの（〒257-0015 神奈川県秦野市平沢101-1）

【参加費】無料

【申込方法】以下URLからお申込み下さい。※当日参加も可能です。

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/userLoginDispNon?tempSeq=108252&accessFrom=>

【プログラム】

- ・オープニングアクト（オカリナ演奏）
- ・開会宣言（長崎県島原市長）
- ・協議会会長あいさつ（神奈川県秦野市長）
- ・来賓祝辞（環境省・神奈川県）
- ・名水紹介（秦野名水名人講・秦野市環境共生課）
- ・基調講演①「秦野盆地の地形と成り立ち」
（平塚市博物館 野崎 篤 学芸員）
- ・基調講演②「秦野盆地の地下水流動の特徴」
（神奈川県温泉地学研究所 宮下 雄次 所長）
- ・基調講演③「秦野市の土壌・地下水汚染と浄化対策」
（横浜国立大学大学院 小林 剛 教授）
- ・基調講演④「秦野名水－地下水ガバナンスの視点から」
（大阪公立大学大学院 遠藤 崇浩 教授）
- ・基調講演⑤「ホトケない！源流域の淡水魚～湧き水が育むホトケドジョウ～」
（かながわ淡水魚復元研究会 勝呂 尚之 会長）
- ・パネルディスカッション「名水というのには訳がある」
（小林教授、宮下所長、立石純子、南足柄市長、山北町長、秦野市長）
- ・大会宣言（山形県西川町長）

▽詳しくはこちら

<https://meisuisummit.my.canva.site/>

▽お問い合わせは全国水環境保全市町村連絡協議会事務局（神奈川県秦野市環境共生課）まで
TEL：0463-82-9618 Mail：k-kyousei@city.hadano.kanagawa.jp



【12】145社を「水循環企業」に登録・認証しました！

～水循環に資する取組に関心がある企業のインセンティブを高め、より一層取組を推進～

内閣官房水循環政策本部事務局では、企業による水循環に資する取組の更なる促進を図るため、水循環に資する取組に関心のある企業や取組を実施している企業を積極的に登録・認証する「水循環企業登録・認証制度」を令和6年度より開始しております。

今年度は、水循環に資する取組を積極的に実施している145社を「水循環ACTIVE企業」として認証し、取組に関心のある3社を「水循環CHALLENGE企業」として登録しました。

今後、企業や地方公共団体を対象として来年1月に開催する「水循環企業連携フェア」や、水循環政策本部事務局のホームページにおいて、水循環ACTIVE企業の取組を広く発信することをはじめ、こうした企業の取組が他の企業にも広がっていくような様々な取組を進めてまいります。

▽詳しくはこちら

首相官邸HP－水循環政策本部148社を「水循環企業」に登録・認証しました！（2025年10月28日発表）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/mizu_junkan/r71028mizu_active.html

水循環企業登録・認証制度ポータルサイト

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/certification/index.html

【13】多様な主体による森林づくり活動と水源涵養機能に関するセミナー～新たな定量化に向けて～を開催します！

近年、地球温暖化防止など地球環境保全の観点から、企業等の多様な主体による森林づくり活動が盛んに行われています。

林野庁では、こうした企業等による活動をさらに促進させるため、森林の多面的機能の一つである水源涵養機能について、森林づくり活動の効果を簡易的かつ定量的に評価できるような、分かりやすい手法を検討しました。

この度、新たな定量化手法について、企業をはじめとする森林づくり活動に携わっている団体や自治体

に広く周知するため、セミナーを開催します。（参加無料、要事前登録）

【開催日時】 令和7年11月28日（金）13時30分～16時00分

【開催場所】 木材会館7階大ホール（東京都江東区新木場1-18-8）

（オンライン配信あり）

【申込方法】 以下URLからお申込み下さい。（申込期限：令和7年11月24日（月））

<http://shinrin-seminar.jp>

※定員（会場150名、オンライン400名）になり次第募集を終了させていただきます。

【主催】 林野庁

【プログラム】

○趣旨説明：「新たな定量化手法の背景とその活用について」

林野庁治山課

○講演1：「新たな定量化手法による計算結果の紹介と企業による活用方法」

サントリーホールディングス（株） 部長 瀬田玄通 氏

○講演2：「新たな定量化手法の学術的背景：蒸発散を中心に」

宮崎大学農学部 准教授 篠原慶規 氏

○パネルディスカッション：「水源涵養機能の新たな定量評価手法の可能性」

▽詳しくはこちら

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/suigen/suigen/seminar.html>

【14】第15回雨水ネットワーク全国大会を開催しました！

2025年9月6～7日に「第15回雨水ネットワーク全国大会 水の環フォーラム in神戸」を開催しました。

阪神淡路大震災から30年目の節目を迎える神戸で、山から海、過去から未来へと繋ぐ人と水の環をテーマに、市民、研究者、企業、行政が一堂に会しました。

当日は、ポスターセッションの他、基調講演、全員参加のディスカッション、エクスカージョンが行われ、「水」を通じ、立場を超えた「人と水の環」が繋がりました！

雨水ネットワークでは、毎年開催地を変え、様々なテーマで全国大会を開催しています（大会詳細はHP <https://www.rain-net.jp/> でお知らせします）。

みなさんのご参加をお待ちしています！

▽第15回雨水ネットワーク全国大会の詳細はこちら

<https://www.rain-net.jp/past-2025/>

【15】ダム湖が生き物の新しいすみかに～河川水辺の国勢調査34年間の成果を分析～

国土交通省では、平成2年度から「河川水辺の国勢調査」を実施しています。

最新（令和5年度）の調査結果をこれまでのデータとあわせて分析し、特徴をとりまとめました。

今回の分析により、ダムの整備によって出現したダム湖において、新たな生き物の生息環境が創出され、継続的に利用されていることが分かりました。一方で、外来生物の影響等も明らかになりました。

▼詳細はこちらをご確認ください

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000277.html

水辺の環境活動プラットフォーム事務局

info@mizubekankyo.env.go.jp